

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年5月27日 (2010.5.27)

【公表番号】特表2007-503451 (P2007-503451A)

【公表日】平成19年2月22日 (2007.2.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-007

【出願番号】特願2006-524824 (P2006-524824)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/7088 (2006.01)

A 6 1 K 31/7105 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/713 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 31/715 (2006.01)

A 6 1 K 31/74 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/06 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 16/22 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/06 Z N A

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 K 31/7088

A 6 1 K 31/7105

A 6 1 K 48/00

A 6 1 K 31/713

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 31/715

A 6 1 K 31/74

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 17/06

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 27/06

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 16/22

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月26日 (2010.3.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(i) P D G F アンタゴニスト ;

(i i) V E G F アンタゴニスト ; 及び

(i i i) 医薬的に許容される担体

を含有し、前記 P D G F アンタゴニスト及び V E G F アンタゴニストが、患者において血管新生疾患を抑制するのに十分な量で存在する、医薬組成物。

【請求項 2】

P D G F アンタゴニストが P D G F - B アンタゴニストである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

V E G F アンタゴニストが V E G F - A アンタゴニストである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 4】

P D G F アンタゴニストが、核酸分子、ペグ化もしくは非ペグ化アプタマー、アンチセンス R N A 分子、リボザイム、R N A i 分子、タンパク質、ペプチド、環状ペプチド、抗体もしくは抗体フラグメント、糖、ポリマー又は小有機化合物である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 5】

V E G F アンタゴニストが、核酸分子、ペグ化もしくは非ペグ化アプタマー、アンチセンス R N A 分子、リボザイム、R N A i 分子、タンパク質、ペプチド、環状ペプチド、抗体、抗体の結合フラグメント又は小有機化合物である、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 6】

V E G F アンタゴニストがペグ化もしくは非ペグ化アプタマーである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

アプタマーがペガプタニブである、請求項 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

V E G F アンタゴニストが抗体又はこの結合フラグメントである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 9】

P D G F アンタゴニストがペグ化もしくは非ペグ化アプタマーである、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 10】

P D G F アプタマーが、配列 C A G G C U A C G N - C G T A G A G C A U C A N T G A T C C U G T を含む、請求項 10 に記載の組成物。

【請求項 11】

血管新生疾患を治療又は予防するための医薬の製造における、(i) P D G F アンタゴニスト及び(i i) V E G F アンタゴニストの使用。

【請求項 12】

前記医薬が(i) P D G F アンタゴニスト及び(i i) V E G F アンタゴニストを含む組成物である、請求項 11 に記載の使用。

【請求項 13】

前記医薬が(i) P D G F アンタゴニストを含む配合物、及び(i i) V E G F アンタゴニストを含む配合物を含有するパックである、請求項 11 に記載の使用。

【請求項 14】

前記医薬が (i) P D G F アントゴニスト及び (i i) V E G F アントゴニストを含む配合物を含有するパックである、請求項 1 1 に記載の使用。

【請求項 1 5】

P D G F アントゴニストが P D G F - B アントゴニストである、請求項 1 1 ~ 1 4 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 1 6】

V E G F アントゴニストが V E G F - A アントゴニストである、請求項 1 1 ~ 1 4 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 1 7】

P D G F アントゴニストが核酸分子、ペグ化もしくは非ペグ化アプタマー、アンチセンス R N A 分子、リボザイム、R N A i 分子、タンパク質、ペプチド、環状ペプチド、抗体もしくは抗体の結合フラグメント又は小有機化合物である、請求項 1 1 ~ 1 5 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 1 8】

V E G F アントゴニストが、核酸分子、ペグ化もしくは非ペグ化アプタマー、アンチセンス R N A 分子、リボザイム、R N A i 分子、タンパク質、ペプチド、環状ペプチド、抗体もしくは抗体フラグメント、糖、ポリマー又は小有機化合物である、請求項 1 1 ~ 1 4 および 1 6 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 1 9】

V E G F アントゴニストがペグ化もしくは非ペグ化アプタマーである、請求項 1 1 ~ 1 4 および 1 6 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 2 0】

アプタマーがペグアプタニブまたはその塩である、請求項 1 9 に記載の使用。

【請求項 2 1】

P D G F アントゴニストがペグ化もしくは非ペグ化アプタマーである、請求項 1 1 ~ 1 5 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 2 2】

P D G F アプタマーが配列 C A G G C U A C G N - C G T A G A G C A U C A N T G A T C C U G T を含む、請求項 2 1 に記載の使用。

【請求項 2 3】

血管新生疾患が眼血管新生疾患である、請求項 1 1 に記載の使用。

【請求項 2 4】

眼血管新生疾患が、虚血性網膜症、虹彩血管新生、眼内血管新生、加齢性黄斑変性、角膜血管新生、網膜血管新生、脈絡膜血管新生、糖尿病性網膜虚血及び増殖性糖尿病性網膜症である、請求項 2 3 に記載の使用。

【請求項 2 5】

血管新生疾患が乾癬又は慢性関節リウマチである、請求項 1 1 に記載の使用。

【請求項 2 6】

V E G F アントゴニストが抗体または抗体の結合フラグメントである、請求項 1 1 ~ 1 4 および 1 6 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 2 7】

(i) P D G F アントゴニスト、ここで前記 P D G F アントゴニストは核酸分子またはペグ化もしくは非ペグ化アプタマーである；

(i i) V E G F アントゴニスト、ここで前記 V E G F アントゴニストは抗体または抗体の結合フラグメントである；及び

(i i i) 医薬的に許容される担体、
を含有し、前記 P D G F アントゴニスト及び V E G F アントゴニストが、患者において血管新生疾患を抑制するのに有効な量で存在する、医薬組成物。

【請求項 2 8】

(i) P D G F アントゴニストを含む配合物、ここで前記 P D G F アントゴニストは核

酸分子またはペグ化もしくは非ペグ化アプタマーである；及び

(i i) V E G F アンタゴニストを含む第 2 の配合物、ここで前記 V E G F アンタゴニストは抗体または抗体の結合フラグメントである、
を含有する、医薬パック。

【請求項 2 9】

(i) P D G F アンタゴニスト、ここで前記 P D G F アンタゴニストは核酸分子またはペグ化もしくは非ペグ化アプタマーである；及び

(i i) V E G F アンタゴニスト、ここで前記 V E G F アンタゴニストは抗体または抗体の結合フラグメントである、
を含む配合物を含有する、医薬パック。

【請求項 3 0】

P D G F アンタゴニストが、6 位、2 0 位及び 3 0 位に 2 ' - フルオロ - 2 ' - デオキシウリジン；8 位、2 1 位、2 8 位および 2 9 位に 2 ' - フルオロ - 2 ' - デオキシシチジン；9 位、1 5 位、1 7 位及び 3 1 位に 2 ' - O - メチル - 2 ' - デオキシグアノシン；2 2 位に 2 ' - O - メチル - 2 ' - デオキシアデノシン；1 0 位及び 2 3 位の「N」にヘキサエチレン - グリコールホスホルアミダイト；及び 3 2 位に逆方向 T（即ち、3 ' - 3 ' - 結合）を有する、配列 C A G G C U A C G N C G T A G A G C A U C A N T G A T C C U G T を有するペグ化アプタマーである、請求項 2 1 に記載の使用。

【請求項 3 1】

眼血管新生疾患を治療もしくは予防するための医薬の製造における、P D G F アンタゴニストの使用。

【請求項 3 2】

P D G F アンタゴニストが P D G F - B アンタゴニストである、請求項 3 1 に記載の使用。

【請求項 3 3】

P D G F アンタゴニストが、核酸分子、ペグ化もしくは非ペグ化アプタマー、アンチセンス R N A 分子、リボザイム、R N A i 分子、タンパク質、ペプチド、環状ペプチド、抗体もしくは抗体の結合フラグメント又は小有機化合物である、請求項 3 1 または 3 2 に記載の使用。

【請求項 3 4】

P D G F アンタゴニストがペグ化もしくは非ペグ化アプタマーである、請求項 3 1 ~ 3 3 のいずれか 1 項に記載の使用。

【請求項 3 5】

P D G F アンタゴニストが、6 位、2 0 位及び 3 0 位に 2 ' - フルオロ - 2 ' - デオキシウリジン；8 位、2 1 位、2 8 位および 2 9 位に 2 ' - フルオロ - 2 ' - デオキシシチジン；9 位、1 5 位、1 7 位及び 3 1 位に 2 ' - O - メチル - 2 ' - デオキシグアノシン；2 2 位に 2 ' - O - メチル - 2 ' - デオキシアデノシン；1 0 位及び 2 3 位の「N」にヘキサエチレン - グリコールホスホルアミダイト；及び 3 2 位に逆方向 T（即ち、3 ' - 3 ' - 結合）；及び 3 2 位に逆配向（即ち、3 ' - 3 ' - 結合）を有する、配列 C A G G C U A C G N C G T A G A G C A U C A N T G A T C C U G T を有するペグ化アプタマーである、請求項 3 4 に記載の使用。

【請求項 3 6】

眼血管新生疾患が、虚血性網膜症、虹彩血管新生、眼内血管新生、加齢性黄斑変性、角膜血管新生、網膜血管新生、脈絡膜血管新生、糖尿病性網膜虚血及び増殖性糖尿病性網膜症である、請求項 3 1 に記載の使用。